

令和7年度 第4回苫小牧市民文化芸術審議会 会議概要

日 時：令和7年10月8日（水） 13：00～13：40

会 場：苫小牧市役所 本庁舎9階 第2委員会室

出席委員：坂井会長、松原副会長、居島委員、川山委員、佐竹委員、
中川委員、中田委員、南(史)委員、南(正)委員、宮川委員 計10名

欠席委員：なし

事務局：教育委員会 斎藤教育部次長

生涯学習課 田中課長、斉藤課長補佐、大垣主査、大森主事

開会 (進行) 生涯学習課 田中課長

1 会長挨拶

2 報告 (進行) 苫小牧市民文化芸術審議会 坂井会長

(1) 第3回苫小牧市民文化芸術審議会について（補足）

書面開催の中で出された質問について、事務局より補足。（大垣主査）

<質疑>

会長 ただ今の報告について、委員の皆さんの意見を伺います。

委員 特にありません。

3 議事 (進行) 苫小牧市民文化芸術審議会 坂井会長

(1) 第3次苫小牧市民文化芸術振興推進計画について（新計画素案）

新計画の施策の推進（案）について、事務局より説明。（大垣主査）

<質疑>

委員 施策の推進（案）の中で、第2次計画の文言から削除した部分はどう解釈すればよいのか。たとえば1-1(1)「美術博物館などを活用した市民作品の展示を検討し」が消えているのは、最初にあった計画から検討を止めたと解釈すればよいのか。

事務局 第3次計画を策定するにあたり、現計画の基本的な考えを土台とし、事業内容が重複しているものは統合、完結しているものや時代に沿わないものなどは削除する方針としたため、一部の

項目は文章量も削減を図っております。ご指摘の箇所は「作品展示」という表現に変更し、意味合い的には総括できると考えております。

委員 スッキリさせた、ということですね。そういった変更が全体にかけて行われたと。特に大きく変えたもののうち、事務局でこだわった点を先にお聞かせ願えますか。

事務局 変更箇所は太字で表記しております。たとえば1-2(3)のボランティアの項目につきましては、以前にも話題になりましたとおり、インセンティブ制度が現在の取組みに馴染まないことから、学生ボランティアの参加や世代を超えた交流の推進といった形に変更を行ったところです。

委員 もう一ついいですか。2-1(1)「貴重な財産です」のあとに、「防災対策を推進しつつ」など文言を足すと、新計画のポイントにもつながると思います。

事務局 登録制度を検討し、「防災対策を推進しつつ」保存と活用に…とつなげる形でどうでしょうか。

委員 それでいいかと思います。

委員 私は苦小牧が短いのですが、施策の5-1(1)に「苦小牧出身の…」とあるように、10-1(1)「地域文化の伝承活動」や10-3(1)「強度学習」の後ろに、具体的な事業名や、苦小牧の有名な地域名など、例示が入ると読み手がわかりやすい。文章の削減には賛成ですが、よりわかりやすく代表例を入れてはどうでしょうか。

事務局 施策の推進（案）を作成するにあたり、市内で展開する事業全体を内包するため、市民文化ホールやアートフェスティバルなど、固有名詞を避けて作成をしております。

委員 わかりました。

課長 事例の紹介という意味では、別のページにはなりますが、写真などを掲載する予定はございます。そういった形で紹介できればと考えております。

委員 冒頭にあった言葉の整理について。よく出てくるのが「努めます」ですが、「検討」の意味合いなのか「推進」の意味合いなのかが読み取れないと感じました。

事務局 事務局としては、すべての項目を「推進」したいと考えていますが、各項目の取組みも考慮しております。

委員 今回、「検討」の項目がなくなり、その点は前向きでいいと思うんです。そこから、形として進めていくのが難しいのかな、と感じたところです。

事務局 何かよい表現がありましたら。

- 委員 日本語の奥深さもあると思うので。「検討します」が「努めます」に変わったところは良いと思っていて、このままでもいいかなという気持ちもあります。
- 委員 なにか思いがあって使い分けているのですか。読み手からすると、「検討します」は「やらないんだな」と受け止めてしまう。特に子どもの項目に「検討」が多く、実現はもっと先の先で、中身が煮詰まっていないのかなと。
- 事務局 以前は「検討」が前向きにとらえられるワードでしたが、現在は後向きに聞こえるワードという指摘もあり、それを受けてこの計画では「検討」を減らす方向で作成を行ったところではあります。
- 委員 6-3(3)施設に関する項目で「市民ニーズを把握し」とありますが、市民ホールも文化施設なので含まれると思いますが、ニーズを把握してももう決まっちゃってますよね。それを実感している市民が多くて。今度の市民ホールはすごく高いと。これは「市民」ホールじゃなく「一企業」のホールだろうと捉えている人もいて、開催場所の変更の声も上がっているんです。年金生活者の多い時代のニーズに合わない。「使用料も市民ニーズを」とあると、「本当か」という声が出そうで危ういなと感じました。
- 課長 第2次計画にも書いてある内容で、文化施設に限らず、使われる方たちのニーズが施設運営において重要になってくる。それをなくすわけにはいけないため、継続した形で書いているところです。市民ホールについては、この計画とのタイミングが微妙で難しいところではありますが、説明会でも使う時間帯などは利用者の相談にのるなどのお答えがあったと思いますので、市民ニーズが全く反映しないものでもないと思い、この表現にしたところです。
- 委員 施設の使い勝手についての意見で改善していくのは当たり前のことなんですけど、今このタイミングで「使用料」とあるのが心配したところです。
- 副会長 先生の意見の補足ですけど。新計画は5年間ですよ。市民ニーズの把握だったり、「検討」を「努めます」に変えたりをして、5年後の進捗確認でどのくらい実施できたかを見ていけばいいかと。市民文化ホールを例にあげると、5年後どんな状態で、どのくらい市民還元できているのかなど。今現実に文化会館と市民会館にあった減免とか免除がなくなるんです。補助について文団協の方でも担当課などとも協議しています。ちょうどこ

- の計画と複走している。5年後の進捗に期待をする形で捉える
ことしかできないんじゃないかなと思っています。
- 委員 副会長と同意見ですけれども、「検討」を実施以外の表現にした、
その目安というものがあつた方がいいのでは。定義が担当者で
ばらつくのはどうかと感じました。何が違うんだろうかと。
- 教育部次長 計画で「推進」と「促進」の使い分けは、自分が主体的に「推
進」する、相手方がいてそれを促す「促進」、と使い分けている
と思います。「拡充」と「充実」は、対象を広げるのが「拡充」、
今あるものを深く掘り下げるのが「充実」と思っております。
- 委員 事務局でおっしゃっていたように使い分けているのであれば大
丈夫です。
- 会長 他にご意見ございませんか。
- 委員 2-2(1)新計画のポイントに戻りますが、「施設の存廃時は、デジ
タル技術を活用した利活用を視野に入れる」というのは、科学
センターの壁画を念頭に入れてのことでしょうか。
- 事務局 壁画の保存においてもデジタルアーカイブを使ったり、ホーム
ページで公開するなどの仕組みづくりを行ったと、第2次計画
の取組でご報告いただいておりますので、今後もそれを推奨
していきたいという意味合いで書かせていただきました。
- 委員 個別のものを指しているわけではない、ということですね。
- 課長補佐 今は文化会館や市民会館が市民ホールに移行するにあたって
も、デジタルアーカイブを使った保存を行う。今後そういった
流れになるのかと思います。
- 会長 他にごございますでしょうか。なければ次に移りたいと思います。

(2) その他

次回の会議日程と答申について、事務局より説明（大垣主査）

閉会 13時40分